

校長室の窓から

夢と目標の話

10月16日後期始業式より

みなさん、おはようございます。今日から後期の後半が始まります。校長先生からは、後期の最初の日ですので「夢と目標の話」をします。

さて、この人分かりますね。大谷翔平選手です。今年も大活躍でしたね。去年の朝会で大谷選手がどうやって目標や夢をかなえてきたか、という話をしました。覚えていますか？そう、このマンダラチャート（目標達成シート）を使って、目標を達成し、夢を実現させた、という話をしました。

今日は、この人の話をします。テレビで見たことがありますね。コマーシャルにもよく出ています。はい、イチローさん（本名は鈴木一朗）です。元プロ野球、メジャーリーグの野球選手です。このイチローさんが夢や目標をどうやってかなえてきたのか、イチローさんがこれまで話してきた言葉から見ていきたいと思えます。



その前にイチローさんの現役時代はこんなにすごかった、というところを見えます。日本で打ったヒットの数、1278本、アメリカ・メジャーリーグで打ったヒットの数3089本、合わせて4367本のヒットを現役時代に打ちました。

これがどれぐらいすごいのか、今年も大活躍の大谷選手はこれまでどれくらいヒットを打っているか？日米合わせて、まだ1050本です。イチロー選手はこの4倍以上です。大谷選手がこれから何年活躍するか分かりませんが、たぶん追いつけないでしょう。さらに、イチロー選手は、2004年のシーズンは262本のヒットを打ちました。これは、21年経った今でも、未だに破られていない記録です。本当に

すごい選手だったんだね。

そんなすごい記録を残した“天才バッター”のイチローさんは、これまでこんな言葉を残していました。

- 「努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。」
- 今、自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと遠くの目標は近づいてこない。
- 夢を掴むことというのは一気には出来ません。小さなことを積み重ねることによっていつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。
- 高い目標を成し遂げたいと思うなら、常に近い目標を持ち、できればその次の目標も持つておくことです。それを省いて遠くに行こうとすれば、挫折感を味わうことになるでしょう。近くの目標を定めてこそギャップは少ないし、仮に届かなければ別のやり方でやろうと考えられる。高い所に行くに

は下から積み上げていかなければなりません。

- キライなことをやれと言われてやれる能力は、後でかならず生きてきます。
- バットの木は自然が何十年も掛けて育てています。僕のバットはこの自然の木から手作りで作られています。グローブも手作りの製品です。一度バットを投げた時、非常に嫌な気持ちになりました。自然を大切に、作ってくれた人の気持ちを考えて僕はバットを投げることも地面に叩きつけることもしません。プロとして道具を大事に扱うのは当然のことです。
- 夢は近づくと目標に変わる。

イチローさんの言葉をまとめてみると、夢や目標を叶えるためには・・・・・・・・。

- ①できそうな小さな目標を達成することが大切。
- ②その小さな目標を達成したら、また次の目標を考え達成することを次々と積み上げていくことが大きな夢につながっていく。
- ③嫌いなことや他の人がやらないことにも逃げずにやってみる。
- ④夢が近づいてくると、それが目標に変わる。



イチローさんが言っていることは簡単に言うと、「漢字一個覚える」という、誰でもできそうな目標ですが、これを馬鹿にしちゃいけないということ。「また1個、次はまた1個、そしてまた1個覚える」って次々にできそうな目標をクリアして積み重ねていくと、後々、すごい人になっていくということです。誰でも苦手なものはあります。でも、そこから逃げて、あきらめてはいけません。ほんのちょっとでもよくなればいいのです。いや、できなくてもいいです。それをやること、チャレンジすることに大きな意味があります。決して無駄ではありません。これ以外にも、大谷選手も言っていたように挨拶、礼儀、道具や人を大切に作る心、やさしさも大切ですね。

先日、ノーベル生理学・医学賞を受賞した日本人が受賞したニュースがありましたね。この方、大学教授の坂口志文（さかぐちしもん）さんです。この方の座右の銘（いつも大切にしていることば）は「ひとつひとつ」だそうです。これもちいさな努力を積み重ねていくイチローさんの考えと同じですね。スポーツも勉強も一緒です。後期はぜひ、イチローさん、坂口さんを見習って、小さな目標を積み重ね、夢と幸運をつかめる人になってほしいと思います。頑張りましょう！

